



2026年5月14日

各 位

上場会社名 株式会社 加藤製作所  
代表者 代表取締役社長 加藤 公康  
(コード番号 6390)  
問合せ先責任者 執行役員財務統括部長 柳原 秀匡  
(TEL 03-3458-1130)

## 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の連結会計期間において、2026年2月13日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

2026年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	57,000	△ 500	△ 1,000	5,800	508.60
実績値(B)	56,335	△ 2,320	△ 1,841	4,526	398.71
増減額(B-A)	△ 665	△ 1,820	△ 841	△ 1,274	
増減率(%)	△ 1.2	—	—	△ 22.0	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	52,932	903	1,401	△ 6,033	△ 514.48

#### 2. 差異の理由

売上高につきましては、足元で開発を進めていた新型油圧ショベルシリーズの市場投入が固まったことを受け、国内市場において購買需要が高まる第4四半期での在庫製品の弾力的販売を加速させたこともあり、概ね前回発表予想に近い水準で着地いたしました。

一方、営業利益および経常利益につきましては、優先課題である在庫水準の早期適正化を目的とした販売施策の推進と工場稼働の抑制に加え、資材価格・物流費の上昇による製造原価率の悪化、新機種開発に関わる諸費用の計上等もあり、前回発表予想を下回る結果となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2026年2月13日公表の「海外子会社の連結除外に伴う特別利益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、中国子会社の持分譲渡完了に伴う特別利益を計上したものの上記要因により、前回発表予想を下回る結果となりました。

なお、配当予想につきましては、変更はありません。

以 上